

松江だんだん

会報 第16号

【令和7年度（2025年）】



松 江 城 《国宝指定 10 周年》

近畿松江会

会 歌 「ふるさと松江」

作詞 近畿松江会

- 1 ほりかわ むね い
堀川めぐり 目に這入る
- くに たから しろすがた
国の宝 城 姿
- いにしえ かに ちどりじょう
いにしえ語る 千鳥 城
- だんだん まつえ
だんだん松江 ふるさと

作詞 荻田運三郎（浜乃木）

- 2 ア ゲ
あげだかねそげだかね どげなかね
- オ ベ
おべたまくれた ほえたよ
- はなせ ばほうげん
話せば方言 ついで してしまう
- だんだん まつえ
だんだん松江 ふるさと

作詞 茂居理智子（豎 町）

- 3 むね ひび おと
胸に響く どの音
- しろ つと どうぎょうれつ
お城に集う 鑿行 列
- かみありつき し ない まわ
神在月に 市内を回る
- だんだん まつえ
だんだん松江 ふるさと

作詞 田中裕子（石橋町）

- 4 おほりめぐ ご ざ ぶね
お堀巡る 莫蔭の船
- れきしきざ ぶ け やしき
歴史刻む 武家屋敷
- やくも 八雲とセツの ばけばけ だる
- だんだん まつえ
だんだん松江 ふるさと

作詞 鶴羽孝子（西持田）

- 5 めいじ まつえ
明治松江に やってきて
- な せかい し
その名を 世界に知らしめし
- やさしい まなざ せんせい
やさしい眼差し ヘルン先生
- だんだん まつえ
だんだん松江 ふるさと

作詞 松本耕司（上本庄町）

るさと

曲は ふるさと 故郷 作曲 岡野貞一

「うさぎ追いし かの山・・・」

- ※ 近畿松江会では 15 周年（2022 年）を記念して、6 番以後の歌詞を募集し、16 作品（広域編 7 編、地域編 9 編）を採用しました。本号には 5 編を掲載しました。
- ※ 募集を継続しますので事務局まで封書・ファックス・メールにて応募してください。

松江だんだん 近畿松江会 会報第16号

目 次

表紙題字 「近畿松江会 元顧問」 故和田亮介氏

会歌「ふるさと松江」募集歌詞のうち5編	・ ・ ・ ・ ・ 作詞 歌詞末尾記載
目 次	・ ・ ・ ・ ・ 1
ご 挨拶 近畿松江会 会長 松 本 耕 司	・ ・ ・ ・ ・ 2
松 江 市 長 上 定 昭 仁	・ ・ ・ ・ ・ 3
令和6年度事業報告	・ ・ ・ ・ ・ 4
令和6年度収支決算報告	・ ・ ・ ・ ・ 5
令和7年度事業計画	・ ・ ・ ・ ・ 6
令和7年度収支予算書	・ ・ ・ ・ ・ 7
令和7年度 第17回総会・懇親会報告	・ ・ ・ ・ ・ 8
.....	
講演 松江市長 上定昭仁様	・ ・ ・ ・ ・ 13
観光戦略 2025 松江城天守国宝指定 10 周年と NHK 朝のドラマ「ばけばけ」を契機に	
総会・懇親会参加者名簿	・ ・ ・ ・ ・ 16
.....	
寄稿集 わがふるさと“松江だんだん”	・ ・ ・ ・ ・ 17
◆ふるさと鹿島町の思い出	新 宮 祐 二
◆思い出の松江 “チャリ” と共に	米 原 克 則
近畿松江会 令和7年度役員名簿	・ ・ ・ ・ ・ 20
会員名簿（出身町・小中学校区別）	・ ・ ・ ・ ・ 21
運営協力金、総会・懇親会寄付金、双樹学院支援金寄付者名簿	・ ・ ・ ・ ・ 25
広 告	・ ・ ・ ・ ・ 26
お知らせ・編集後記・表紙（写真）について	・ ・ ・ ・ ・ 32

■ご挨拶 近畿松江会会長 松本 耕司



今年の夏は「危険な暑さ」という言葉を何度も耳にしましたが、会員の皆様にはいかがお過ごしでしたでしょうか。お伺い申し上げます。

さて、去る5月24日に当会の年次総会・懇親会を開催しましたところ、ご来賓、会員・会友を含め全体で91名の皆様にご参加をいただき、盛況裡に無事終了することができました。ご参加の皆様には心より厚く御礼を申し上げます。

特に上定市長様には松江城天守国宝10周年や、NHK朝ドラの放映情報に活気づく「松江の観光戦略」についてご講演を賜わり、大変心強く存じました。重ねて厚く御礼を申し上げます。

(講演内容はP-13に掲載)

只今、当会はその流れを受け、来る11月8日の「近畿島根県人会 故郷応援団総会」の準備に、5年ぶりの輪番担当として近畿安来会、関西奥出雲会とともに汗をかいている最中ですが、この5年に一度の「特別な年」の勤めを皆様のご支援をいただいて無事果たしてまいりたいと考えていますので、引き続きのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

特別な年と言えば、4月に開幕した「大阪・関西万博」は予想以上の盛況を呼び、この体験や成果は万博が終わった後の大阪・関西を大きく成長させてくれるように思います。まさしく当地にとって今年は特別な年になるのではないのでしょうか。

同じことが松江にも言えるように思います。まもなく始まる朝ドラ“ばけばけ”で紹介される小泉八雲の妻セツの生きざまは、人々の心を打ち松江のファンを増やしてくれることでしょう。松江城の国宝10周年記念事業も含め、私は、今年は全国の皆さんがあらためて「松江の総合的な文化力」に気づいていただける特別な年になるのではないかと考えています。

個人的な願いになりますが、今年という年が将来の人たちから、大阪・関西にとっても松江にとっても特別な年だったと言われるようになることをひそかに期待している次第です。

その中で、再び目を当会に転じると、この特別な年に続く来年は、愈々「満20周年」という記念の年を迎えますが、人口減少や社会の変化が当会にも何をもたらしているかはご承知のとおりです。発足以来、皆様のご協力により当会を継続してきましたが、これまでの人数を追いかけるだけの施策では対応できないほどの時代の変化も感じているところです。

従って、来年の発足20周年を契機に、今年の特別な年の経験も踏まえ、役員の間では侃々諤々の論議をして新風を呼び込み、当会を将来につないでいこうと話し合っていますので、会員の皆様には忌憚のないお声をお聞かせくださいますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆々様の益々のご健康、ご多幸を衷心より祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。有難うございました。

■ご挨拶（近畿松江会の皆様） 松江市長 上定 昭仁



近畿松江会の皆様には、日頃より松江市の市政運営に温かいご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

また、来たる 11 月 8 日に開催される「近畿島根県人会総会」では、本市と安来市、奥出雲町が開催幹事を務めるにあたり、近畿松江会の皆様に、乾杯酒・福引景品の手配や、小泉八雲と妻・セツにちなんだ商品コーナーの設営などにお骨折りいただいております。重ねて感謝申し上げます。

さて、今年は、松江城天守が国宝指定を受けてから 10 年、明治時代の廃城令に基づく廃城の危機を乗り越えてから 150 年という節目を迎えております。去る 6 月 28 日・29 日には、松江城国宝指定 10 周年記念式典と「お城 EXPO」を開催し、城の専門家による講演や、城に詳しい俳優・高橋英樹さんのトークショーなどに、6 千人を超える皆様にご来場いただきました。6～8 月の週末には、松江城が雲海に包まれるイベント「雲海・松江城『八雲立つ』」を開催し、夜にはプロジェクションマッピングや立体音響も組み合わせた幻想的な演出により、のべ 3 万 1 千人の皆様に楽しんでいただきました。

また、関西圏域では、大阪・関西万博において、内閣府主催「地方創生 SDGs フェス」に参加し、「小泉八雲のオープンマインド」をテーマに、八重垣神社の「鏡の池」のご縁占いや、絵馬とおみくじをセットにした「えまみくじ」が体験できるブースを出展しました。6 月 1 日には私自身がステージに登壇し、本市の魅力を PR しております。また、本市出身のインド哲学者・中村元博士のご縁により、ここ 10 年活発に交流するインドのパビリオンや、本市の姉妹都市である中国・杭州市による「杭州 DAY」にお招きいただくなど、万博をきっかけに国際交流を深化しております。

小泉八雲を通じて連携を図るアイルランドパビリオンにもご招待いただきましたが、いよいよ 9 月 29 日には、小泉セツをモデルにした NHK の連続テレビ小説「ばけげん」の放送が開始されました。本市にとって、知名度とブランド力を高める「千載一遇のチャンス」であり、全国・世界に向けて「松江の魅力」を積極的に発信してまいります。

加えて、松江市役所新庁舎の建設工事が進み、来年 5 月にグランドオープンする運びとなりました。わかりやすく使い勝手のよい窓口を配置して行政手続きの利便性を高めるとともに、コンビニ、カフェ、キッズスペースなどを設けることで、市民の皆様が心地よく過ごせる市役所にしてまいります。

そして、近畿松江会の皆様には、新庁舎完成に合わせて、市民になじみの深い「ヒトツバタゴ（ナンジャモンジャ）」を寄贈していただけますことに、衷心よりお礼申し上げます。来春、新庁舎正面玄関付近で植樹式を執り行い、来庁される方々をお迎えするシンボルツリーとして大切に育ててまいります。

結びとなりますが、近畿松江会の皆様には、引き続き近畿圏における本市の PR にお力添えくださいますようお願いいたしますとともに、貴会のますますの発展と会員の皆様のご健勝を祈念しまして、私のご挨拶とさせていただきます。

令和6年度事業報告書

月 日	曜日	時間	行 事 等 の 内 容	場 所
1月12日	金	17:30	全国都道府県対抗女子駅伝激励会 激励金贈呈 2名出席	京都三条加茂川館
1月14日	日		全国都道府県対抗女子駅伝応援	西京極陸上競技場
2月14日	水		令和5年度会計 会計監査	
2月 7日	水		児童養護施設「双樹学院」支援金募集案内発送	
3月 7日	木		「双樹学院」支援金(R06年度第1回)贈呈	
4月 8日	月		第16回総会・懇親会案内状発送	
4月26日	金		第22回 近畿松江会ゴルフ大会	きさいちカントリークラブ
5月26日	日	11:00	第16回総会・懇親会	ニューオオサカホテル
8月22日	木		「双樹学院」支援金(R06年度第2回)贈呈	
10月 1日	火		第15号会報発行	
11月 1日	金		第23回 近畿松江会ゴルフ大会	きさいちカントリークラブ
11月17日	日	11:00	第59回近畿島根県人会総会・懇親会	ホテルニューオオタニ
12月 9日	月		「双樹学院」支援金(R06年度第3回)贈呈	
			随時役員会開催	

令和6年度 近畿松江会 収支決算報告書

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

収 入 の 部

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
前期繰越金	983,071	983,071	0	
年 会 費	390,000	381,000	▲ 9,000	127名×3,000円
総 会 費	720,000	740,861	20,861	会費8,000円×81名・寄付金・払込手数料差引き後
寄 付 金	170,000	173,000	3,000	運営協力金57名
広 告 料	130,000	146,500	16,500	会報第15号 18件
雑 収 入	10	1,415	1,405	預金受取利子・書籍販売手数料
合 計	2,393,081	2,425,847	32,766	

支 出 の 部

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
総 会 費	855,000	766,305	▲ 88,695	
広 告 費	44,440	44,440	0	年賀・暑中見舞い紙上掲載（山陰中央新報社）
通 信 費	90,000	60,567	▲ 29,433	会長挨拶状送付ほか
印 刷 費	150,000	102,401	▲ 47,599	会報第15号：300部・広告のお願い
事 務 費	50,000	60,005	10,005	HP接続料・封筒ほか
旅 費	30,000	13,710	▲ 16,290	松江市訪問交通費
雑 費	30,000	53,233	23,233	松江城を守る会会費・松江市訪問手土産
予 備 費	30,000	10,000	▲ 20,000	島根県女子駅伝チーム激励金
事 業 費	30,000	30,000	0	ゴルフ同好会賛助金
払込負担金	25,000	21,091	▲ 3,909	会費、広告料郵便局払込手数料
次期繰越金	1,058,641	1,264,095	205,454	前年度迄繰越 983,071 今年度分繰越 281,024
合 計	2,393,081	2,425,847	32,766	

監査の結果、正確に処理、記載されていることを認めます。

令和7年2月11日

監 事 田 中 裕 子

印

監 事 原 善 雄

印

令和7年度事業計画書

月 日	曜日	時間	行 事 等 の 内 容	場 所
1月 8日	水		令和8年度年会費納付のお願い発送	
1月10日	金	17:30	全国都道府県対抗女子駅伝激励会 激励金贈呈 役員2名出席	京都三条加茂川館
1月12日	日		全国都道府県対抗女子駅伝応援	西京極陸上競技場
2月11日	火		令和6年度会計 会計監査	事務局
2月12日	水		児童養護施設「双樹学院」支援金募集案内発送	大阪玉造郵便局
3月13日	木		「双樹学院」支援金(R07年度第1回)贈呈	
4月 1日	火		第17回総会・懇親会案内状発送	
4月25日	金		第24回 近畿松江会ゴルフ大会	きさいちカントリークラブ
5月24日	土	11:00	第17回総会・懇親会	ニューオオサカホテル
8月下旬			「双樹学院」支援金(R07年度第2回)贈呈	
9月24日	水	10:45	八束学園「大阪商人体験:牡丹等の販売」の応援	天神橋筋商店街3丁目
10月初旬			第16号会報発行	
11月 8日	土	11:00	第63回近畿島根県人会総会・懇親会	ホテルニューオオタニ
11月14日	金		第25回 近畿松江会ゴルフ大会	きさいちカントリークラブ
12月初旬			令和8年度年会費納付のお願い発送 「双樹学院」支援金(R07年度第3回)贈呈	
			随時役員会開催	

令和7年度 予算書
(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

収 入 の 部

単位 : 円

科 目	R06年度決算額	R07年度予算額	比較増減	備 考
前期繰越金	983,071	1,264,095	281,024	
年 会 費	381,000	420,000	39,000	140名×3,000円
総 会 費	740,861	1,100,000	359,139	総会・懇親会会費 110名×10,000円
寄 付 金	173,000	150,000	▲ 23,000	運営協力金
広 告 費	146,500	130,000	▲ 16,500	会報広告
雑 収 入	1,415	1,000	▲ 415	預金受取利子
合 計	2,425,847	3,065,095	639,248	

支 出 の 部

単位 : 円

科 目	R06年度決算額	R07年度予算額	比較増減	備 考
総 会 費	766,305	1,100,000	333,695	総会・懇親会 110名×10,000円
広 告 費	44,440	44,440	0	年賀・暑中見舞広告(山陰中央新報社)
通 信 費	60,567	100,000	39,433	総会、懇親会案内状・会報発送費ほか 友誼団体助成
印 刷 費	102,401	120,000	17,599	会報発行(300部)・配布資料ほか
事 務 費	60,005	60,000	▲ 5	HP接続料、封筒ほか
旅 費	13,710	30,000	16,290	松江市訪問旅費ほか
雑 費	53,233	60,000	6,767	松江市訪問土産ほか
予 備 費	10,000	130,000	120,000	女子駅伝激励金・修学旅行激励・松江市庁舎新築記念植樹
事 業 費	30,000	30,000	0	ゴルフ同好会助成金
会 議 費	0	30,000	30,000	対友誼団体等茶話会
払込料金負担	21,091	25,000	3,909	会費、広告料等郵便局払込手数料
次期繰越金	1,264,095	1,335,655	71,560	
合 計	2,425,847	3,065,095	639,248	

第17回記念総会・懇親会 報告

令和7年5月24日(土)

ニューオオサカホテルにて開催

昨年と同じく会場をニューオオサカホテルとして第17回総会・懇親会が、上定昭仁松江市長をはじめご来賓23名、近畿の会員・会友91名のご出席をいただき、盛大に開催されました。

【第一部】総会

今年は尾原謙治常任幹事の司会で開会されました。まず、物故会員に対する黙祷が捧げられ、その後に松本耕司会長が開会の挨拶をいたしました。



松本会長挨拶

冒頭、松本会長は上定松江市長、野々内松江市議会議長、千家近畿島根県人会長、また名誉会員の三林京子様などご来賓の皆様、各地友好ふるさと会の皆様、ご多用の中をご出席いただいた会員の皆様にご参会への御礼を申し上げ、今後ともこの会を将来につなぐべく皆様への引き続きのご協力のお願いをいたしました。

また、本年は「松江城天守国宝指定10周年」の記念行事が多数開催され、秋からは小泉八雲とセツ夫妻をモデルにしたNHK朝ドラ「ばけばけ」がスタートするなど、松江にとっては明

るい話題が続き、「不昧公」や「小泉八雲」が何かと話題になって「松江の文化振興」にも追い風が吹くと考えられることから、今年が私たちが誇りとしてきた「松江の文化力」に磨きをかける年になって欲しいという期待を述べました。

そして、この「親睦の場」も有意義にお楽しみくださるようお願いして挨拶を終えました。



尾原常任幹事 総会の司会

総会議事

続いて議事が行われ、会則により松本耕司会長が議長を務め議事が進められました。竹谷奨事務局長が令和6年度の事業報告と決算報告を行い、田中裕子監事により会計監査報告がなされました。



田中監事 会計監査報告

続いて新役員の選出で、木幡晃正常任幹事が監事に就任することと尾原謙治、新宮祐二の両

幹事が常任幹事に就任、さらには宍道弘志団体推薦幹事が常任幹事として就任することが報告されました。

このあと、竹谷事務局長より令和7年度の事業計画及び予算案が提案、承認されました。



竹谷事務局長 事業報告及び決算報告

【第二部】講演

上定昭仁松江市長

講演会司会の鶴羽孝子常任幹事から今年の春に上定市長が再選を果たされたこと、市長のご経歴が紹介され、「観光戦略 2025 松江城天守国宝指定 10 周年とNHKドラマばけばけを契機に」と題してご講演をいただきました。

(詳細は 13 ページ～15 ページ参照)



鶴羽常任幹事 講演の司会

【第三部】懇親会

今年は景山克雄副事務局長の司会で懇親会が始まりました。

先ずは、ご来賓を代表して千家敬麿近畿島根県人会会長から「近畿島根県県人会総会が11月8日に松江市・安来市・奥出雲町の三市町が実行委員として開催されるので是非ご参集いただきたい旨、また、小泉セツと千家家にご縁があり、どこでご縁ができるか分かりませんが今日も良いご縁がありますように。」とのご祝辞をいただきました。

また、久しぶりにご出席いただいた三林京子名誉会員様からも「NHK 朝ドラのだんだんで近畿松江会とご縁ができ、今日、皆様と会って更にご縁が深くなった。」とのご祝辞をいただきました。



千家敬麿近畿島根県人会会長 来賓ご祝辞



三林京子名誉会員 来賓ご祝辞

次に、松江からお越しいただいたご来賓の皆様、近畿における友好団体代表者の方々が

紹介され、野々内誠松江市市議会議員様にご挨拶と乾杯のご発声をいただき、賑やかに宴が始まり懇親が交わされました。



野々内松江市市議会議員様のご挨拶

より懇親を深めるために・・・

特に、本年度はご出席の皆さんに一層の満足感を味わっていただくため、事前にテーブルの座席配置の在り方にまで喧々譁々の論議をしました。ふるさと町内単位がどうか、出身の学校別がどうか、その折衷がどうか、など、マンネリにならない方法を協議しました。

結局は満点の回答を得られる方法はなく、配布資料で情報を提供したり、初めてご参加の方に自己紹介スピーチを頂いたり、途中、司会者が席を廻って交流を呼びかけるなど、例年以上の工夫をいたしました。

結果は不十分だったとは思いますが、新しい取り組みは皆さんの胸に届いたのではないかと思います。

「福引き大抽選会」

懇親を深めるなか「福引き大抽選会」が始まり、ご来賓の方々により抽選が行われました。松江市関係各所から提供された牡丹の鉢植えをはじめ食品や清酒、宿泊券他が来場者全員に当たりました。



福引き大抽選会



大抽選会 景品の引き渡し

「会歌ふるさと松江」 斉唱

「万歳三唱」

宴たけなわのなか、会歌「ふるさと松江」を斉唱。続いて、森岡淳松江市商工会議所事務局長の音頭により万歳を三唱しました。

最後に、松尾年治副会長の「閉会のことば」で締めくくり、懇親会を終了しました。



会歌「ふるさと松江」 斉唱



森岡松江市商工会議所事務局長の音頭で万歳



松尾副会長 閉会の挨拶

懇親会を楽しむ参加者の皆



ご来賓の方々と当会役員の皆さん



ご来賓の方々と当会役員の皆さん



ご来賓の方々と当会役員の皆さん



近畿友好団体代表者の方々と当会役員と
参加者の皆さん (Dテーブル)



近畿友好団体代表者の方々と当会役員と
参加者の皆さん (E テーブル)



当会役員と参加者の皆さん (H テーブル)



当会役員と参加者の皆さん (F テーブル)



当会役員と参加者の皆さん (I テーブル)



当会役員と参加者の皆さん (G テーブル)



当会役員と参加者の皆さん (J テーブル)

上定昭仁 松江市長 講演

【演題】観光戦略2025

松江城天守国宝指定10周年と

NHK 朝のドラマ「ばけばけ」を契機に



1. 松江城天守国宝指定10周年

今年は、松江城が国宝に再指定されてから、ちょうど10年の節目にあたります。また、廃城令による危機を乗り越えてから150周年という節目でもあります。

松江城は1611年、宍道湖畔の亀田山に築城されました。築城を決めたのは、堀尾吉晴・忠氏の親子で、雑賀町の床几山からこの地を望み選定したと伝えられています。

1875年（明治8年）、廃城令により建物の払下げが決定され、売却や解体の危機に直面しましたが、松江藩政下で銅山の採掘に携わり、屈指の財力を持つ豪農として知られていた斐川の勝部本右衛門親子が、松江藩の「銅山方」で城を守らんと東奔西走していた雑賀の元足軽、高城権八と力を合わせて買い取りを決意し、現存の姿が保たれています。

国宝指定の経緯としては、昭和10年に「国宝保存法」により国宝に指定されましたが、昭和25年の法改正で重要文化財に格下げとなりました。その後、平成27年に松江神社で大山寺の祈祷札が発見され、天守が「慶長16年完成」であることが明確になったことで松江城の価値が再評価され、再び国宝として指定される

に至りました。

現存する天守を有する城は全国に12城あり、そのうち松江城は5つの国宝指定城の一つです。

堀尾家が松江を治めた後、京極家、さらに松平家へと継がれました。松平家七代の当主、松平治郷公（不昧公）は、松江に茶の文化を広めた人物としても知られています。

今年の記念事業として、6月28日・29日に「お城EXPO」を松江で開催予定です。このイベントは通常、横浜で行われていますが、二年前に姫路城が世界遺産30周年を迎えた際、初めて地方開催されました。その際、国宝五城を有する五市の市長が集まり、「お城サミット」が実現。私はその場で「松江城が国宝指定10周年を迎える2025年には、ぜひ松江で開催したい」と提案し、今回の開催が決定しました。



イベントには、俳優の高橋英樹さん他、多彩なゲストが参加予定です。「国宝五城サミット」では、五市の市長が集まり、ユネスコ世界遺産登録を目指す機運を高める場にもなります。

また、6月28日～8月17日の週末には、松江城周辺で雲海の演出やプロジェクションマッピングが楽しめるイベントが初開催されます。昼夜を問わず実施される予定です。

毎年6月4日に開催される「武者の日」も今年はお城EXPOに合わせて開催され、7月8日には、うちわ・手拭いの配布、書道パフォーマンス、記念御城印の販売など、多彩なイベントが予定されています。

松江城の歴史と文化を彩る節目の年に、多くの方に訪れていただけるよう努めてまいります。

2. NHK朝ドラ「ばけばけ」

この秋から、小泉八雲と妻セツを取り上げた朝のドラマ「ばけばけ」が開始されます。幾度かの陳情の結果、今秋からの放送が正式に決定しました。

ドラマでは「小泉八雲」「セツ」という名前は使用せず、フィクションとして展開される予定です。セツは「松野トキ」という名前で登場します。

小泉八雲の曾孫である小泉凡・島根県立大学名誉教授によると、八雲は“時”という概念が非常に好きだったそうで、この「トキ」という名前にはそうした意味が込められているそうです。脚本家の方が丁寧に考え抜いて名付けられたものであり、思い入れの強いドラマとなることが期待されます。

(編集注:小泉凡氏の父君のお名前も小泉時氏)

ラフカディオ・ハーンは、アメリカで離婚を経験した後、傷心の中、日本に渡り英語教師として松江に赴任しました。一方、セツさんは武家の名家出身でしたが家が没落し、結婚後も極貧生活に耐えかねた夫が逃げてしまうなど、非常に苦しい状況を過ごされました。そんな二人が出会い、さまざまな変化を生み出していきます。これが明治時代の西洋化の流れと重なり、今回のドラマタイトル「ばけばけ」の由来にもなっています。

松江市はこのドラマを応援するため、昨年10月に市役所内に「小泉八雲・セツドラマ応援室」を設置しました。ロゴマークも作成し、今後は様々な商品にも活用予定です。

官民連携による推進体制として、昨年12月には「化ける松江推進協議会」を設立しました。商工会議所、観光関連団体、旅行・交通・宿泊業者など、20の団体で組織されており、「あげ、そげ、ばけ」というテーマのロゴを採用して活動を進めています。

SNSなどでの積極的な情報発信、市報松江での特集記事、市立図書館や新聞では「小泉八雲・セツの生涯すごろく」も紹介しています。また、松江市役所ではAIによるセツさんの音声案内も実施しており、市内には横断幕や懸垂幕を多く掲示し、ドラマへの機運を高めています。

さらに、「怪談グルメ」として耳なし芳一の耳型クッキーやお饅頭などを市内で販売し、小泉八雲記念館では、セツさんの特別展示を6月8日まで開催予定でしたが、好評につき6月13

ば け、
そ げ、
あ げ、



小泉八雲とセツが出会ったまち 松江

日から来年9月まで第二弾も実施予定です。

ドラマの放送は来年3月までの予定ですが、それ以降も一過性で終わらせず、松江の魅力を伝え続けたいと考えています。皆様からのご協力・ご支援を心よりお願い申し上げます。

さらに松江では

今年10月には「松江水燈路」が開催され、「ばけばけ」放送開始と重なるタイミングでもあることから、松江城の城山稻荷神社やギリギリ井戸のライトアップも予定しております

近畿では、万博会場でも

5月31日には大阪・近鉄アート館で、佐野史郎さんと山本恭司さんによる「小泉八雲朗読パフォーマンス」が開催されます。

さらに、大阪・関西万博にも松江市がブースを出展。5月28日～6月1日には「地方創生SDGsフェス」にて、小泉八雲の“多様性を受け入れる精神”をテーマに出展します。「鏡の池」をモチーフにしたご縁占いや、絵馬みくじ体験など、ユニークな企画を準備しています。

3. その他の取り組み

8月2日・3日には「松江水郷祭湖上花火大会」を宍道湖で開催予定です。持続可能な花火大会のモデルを目指し、有料観覧席の導入など工夫を凝らし、市民の皆様に楽しんでいただけるよう準備を進めています。チケットは6月9日から全国のローソンやミニストップの店頭でも販売されますのでご活用ください。

さらに、万博会場には9月26日～28日には「温泉ツーリズム推進協議会」のメンバーとして、足湯体験ブースも出展します。松江しんじ湖温泉や玉造温泉のお湯に触れられる企画もあり、大阪会場で全国の温泉へと誘うイベントとなります。

4. 新庁舎記念樹贈呈への御礼

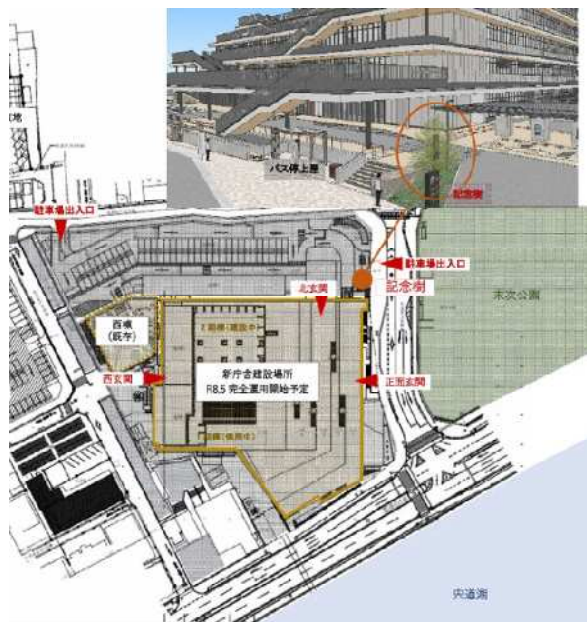
最後に、松江市役所の新庁舎が現在半分オープンしており、今年10月には完成、来年5月にグランドオープンを予定しています。

近畿松江会の皆様から記念樹として贈呈いただく「ヒトツバタゴ(別名ナンジャモンジャ)」を、正面玄関左前の目立つ位置に植樹する予定です。5月には白い花を咲かせ、松江城のシンボルとしても市民に親しまれている樹木です。



記念樹は大切に育ててまいります。また、近畿松江会の皆様との関係もさらに進化させ、共に松江市の魅力を高め、全国へ発信してまいります。今後とも、何卒よろしくお願いいたします。

注：記念樹は東京松江会、広島松江会と共同で贈呈することとなっています。



新庁舎植樹位置イメージ

第17回総会・懇親会参加者名簿 全90名

— ご 来 賓 — 23名

松江市 市長	上 定 昭 仁
松江市 政策部 理事 政策部部長	松 浦 徹
松江市 観光部 部長	福 間 千 恵
松江市 政策部（秘書課）次長（課長）	井 川 浩 介
松江市議会 議長	野 々 内 誠
松江市議会事務局 事務局長	田 中 孝 一
松江市観光振興公社 専務理事	高 木 博
松江市観光振興公社 事務局長	武 田 芳 治
松江観光協会 常務理事	大 塚 享 義
松江商工会議所 事務局長	森 岡 淳
島根県大阪事務所 所長	河 野 敏 範
島根物産協会 専務理事	本 廣 保 徳
名誉会員	三 林 京 子
近畿島根県人会会長・近畿大社会会長	千 家 敬 麿
京都島根県人会 事務局長	山 崎 治 男
京都島根県人会 幹事	野 津 幸 枝
近畿安来会 会長	松 本 潤
関西隠岐人会 会長	高 橋 真 知 江
隠岐の島町関西ふるさと会 会長	本屋敷 千鶴子
関西知夫会 事務局長	下 濱 敏 弘
関西岩見沢会 会長	北 浦 和 憲
山陰合同銀行 大阪支店長	植 寛 行
山陰中央新報 大阪支社長	小 松 慶 一 郎

— 会 員 ・ 会 友 — 67名

有 田 鋼 司（栄 町）	池 田 喜 美 代（石 橋 町）	石 倉 喜 充（鹿 島 町）
石 原 綏 子（西津田町）	内 部 茂（東朝日町）	大 野 徹（八 幡 町）
小 川 ち づ る（大阪市）	小 田 一 美（堂 形 町）	尾 原 謙 治（雑 賀 町）
景 山 克 雄（法 吉 町）	勝 田 純 一（石 橋 町）	加 藤 巡 一（外中原町）
門 脇 幸 夫（八 束 町）	神 谷 紀 男（上 乃 木）	神 田 俊 之（外中原町）
木 原 貢（穴 道 町）	木 村 恵 吉（雑 賀 町）	木 村 文 昭（吹 田 市）
小 泉 勝 是（石 橋 町）	小 寺 紀 子（穴 道 町）	木 幡 晃 正（穴 道 町）
酒 井 祥 三（東津田町）	志 賀 潔（西川津町）	車 野 礼 二（安 来 市）
新 宮 祐 二（鹿 島 町）	穴 道 弘 志（中原町）	周 藤 達 夫（大 輪 町）
曾 田 良 子（古 志 原）	高 橋 一 雄（鹿 島 町）	竹 内 喜 次 男（豎 町）
竹 谷 奨（八 束 町）	田 中 一 男（和田見町）	田 中 繁 法（鹿 児 島）
田 中 英 明（上 乃 木）	田 中 裕 子（石 橋 町）	田 村 稔 久（石 橋 町）
鶴 羽 孝 子（西持田町）	出 口 喜 久 栄（大阪市）	徳 田 完 二（海 士 町）
友 田 公 一（箕 面 市）	永 瀬 丈 嗣（玉湯町）	中 村 博 行（新 町）
野 口 博 也（内中原町）	野 津 ゆ う 子（黒田町）	長谷川紀美子（玉湯町）
長 谷 川 浩 之（天神町）	樋 野 博 美（中原町）	藤 田 ト ク 子（大 正 町）
藤 田 宏（八 雲 町）	前 田 秀 子（東出雲町）	松 尾 年 浩（馬 湯 町）
松 本 耕 司（上本庄町）	松 本 幸 子（南 田 町）	万 波 迪 義（北 堀 町）
三 澤 正（奥出雲町）	三 好 洋 二（東津田町）	村 上 勝 美（片 原 町）
村 田 貢（隠岐の島町）	目 次 護（佐 草 町）	茂 居 理 智 子（豎 町）
森 藤 哲 章（広 瀬 町）	山 口 紀 子（黒田町）	山 下 俱 子（上 乃 木）
山 本 雅 昭（鹿 島 町）	吉 田 昭（穴 道 町）	米 田 稔 宏（白湯本町）
和 田 寛（東長江町）	平 山 恭 子（古 志 原）	米 原 克 則（安 来 市）

新規加入者（令和6年6月～令和7年5月）

初参加者

2名

8名

寄稿集 “松江だんだん”

会報のニックネーム「松江だんだん」にちなみ、「松江に“だんだん”する」ページをつくりました。

わが町・わが村を「語る」内容でも、「思い出」でも、「思い」でもすべて可とし、今年も下記の方々に謂わば町内代表としてご寄稿をいただきました。

皆で語り継ぐ企画ですから、町内リレー大会のように、次号はあなたにバトンがいくかもしれません。その節はよろしくタノンマスケネ。

◆『ふるさと鹿島町の思い出』

生駒市 新宮 祐二

2023年1月号の市報松江の「松江の皆さんこんにちは」にも記したが、今回も半世紀以上前、鹿島町で過ごした日々を綴りたい。



六十代後半となり、松江への出張は車から飛行機に変えた。予約はいつも右側の窓側席。眼下には、美保関や北浦、加賀の海岸線、島根原発、実家、母校の松江高専、下佐陀から秋鹿へと続く景色が広がる。その美しい海岸線や里山、水郷の原風景を俯瞰するたび、遠い日の記憶が鮮やかによみがえる。そして故郷の原風景は変わらぬ温もりで迎えてくれる。親兄弟や親戚、友人たちが出雲弁でかける「まっちょったよ」の声は、何よりの癒やしだ。故郷を離れて半世紀、還暦を機に本籍を奈良へ移したものの、歳を重ねるほど郷愁は深まっていく。



昭和三十～四十年代前半の小中時代は、まさに唱歌『ふるさと』の情景そのものだった。佐陀川でのウナギや手長エビ、ゴズ、シジミ獲り。山では栗や柿など秋の味覚、冬は手作り竹スキーを楽しんだ。ゲームも携帯もない時代、自然こそが最高の遊び相手だった。

とりわけウナギ釣りは格別で、夜に仕掛けをして翌朝確認するまでの高揚感、掛かった瞬間の喜びは今も鮮明だ。餌や仕掛けを工夫し「狙って、仕掛けて、獲る」を自然に身につけた。この感覚は、後の社会人になってマーケティングを基盤に事業戦略を練り、受注・事業の拡大へとつなげたプロセスの原点だったと思っている。

近所の船で佐陀川から海水浴や宍道湖の花火見物に出かけたこと、佐太神社での毎日のラジオ体操も忘れ難い夏の思い出だ。全国的に名高い佐太神社の神在祭（お忌み祭）の六日間も懐かしい。



中学一年で父を亡くし、僅かな田畑を耕す母の手伝いもした。畑で母と食べた西瓜の味は今も忘れない。現

在、農園で西瓜を作るたび、その情景がよみがえる。五歳違いの兄は親代わりという訳ではないが今も支えてくれている。現在の生駒市での蛸舞う里山整備や菜園での食育、四季折々の趣味の釣りも、故郷から授かった大切なDNAの賜物である。

昭和四十年代後半の学生時代、田中角栄の『日本列島改造論』に「松江にも新幹線が通る」との一文を見つけ胸を躍らせたが、計画は消えた。半世紀を経た今も、故郷は良き風土と文化を守り、静かに時を刻んでいる。松江市が山陰で最も人口が多く、沢山の文化・観光・産業の経営資源が新たな価値を生み、投資と成長の好循環が広がることを願っている。総花的でなく尖った施策を期待している。

授業後は西茶町の喫茶「MG」でカツ丼を食べながらフォークソングを聴くのが

楽しみで一足早く大人になった気分だった。やがてバンド活動を始め、県民会館での文化祭にも出演した。



17歳の時に山陰放送の吉田拓郎の公開録音を見て更にファンになり2019年最後のライブにも行った。県民会館には同世代のファンである竹内まりやも大社からきていたと後で知ることになる。高学年になるとアルバイトで旅費を貯め、友人との旅行やヒッチハイクも経験した。購入した専門書は積読も多かったが、社会勉強（遊び）に明け暮れた五年間こそ、かけがえのない青春だった。

同級生との交流は今も続き、同窓会幹事として還暦（出雲大社・玉造温泉）、緑寿（奥出雲亀嵩温泉）、古希（石見銀山・三瓶温泉）を企画し人生の節目を地元で祝ってきた。今年は京都での上洛同窓会（紅葉・祇園）を企画中である。



仕事で松江市北陵町の本社にお客様を迎える際は、できる限り松江の魅力を紹介している。松江観光大使や地元企業を通じ、これからも故郷への恩返しを続けていきたい。

◆『思い出の松江』

“チャリ”と共に過ごした日々～

宝塚市 米原 克則

振り返れば、松江市で過ごした中学・高校時代は、常に“チャリ”と共にありました。当時の空気をより鮮明に思い出すため、あえて自転車ではなく“チャリ”と呼ぶことにします。



■新聞配達と体力づくり

西津田町の島根自動車学校付近に住み、松江市立第四中学校に通っていました。



中学3年の夏、部活動が早めに終了したのをきっかけに、高校入学まで体力を落とさないよう新聞配達を始めました。1995年、まさにインターネット元年と呼ばれる頃のことです。当時、中学生がアルバイトをするのは珍しかったため、親を通じて担任の先生に事情を説明し、友人には秘密にするという条件で許可を得ました。毎朝4時10分に起床、チャリで10分ほど走って新聞販売店へ着き、50部ほどの新聞を前カゴと荷台に積み込み、くびき通り沿いを南へ、桧山トンネル方面へと配達です。



桧山トンネルまでの道のりは坂道で、坂を上りながら新聞を運ぶのは、まさに筋力トレーニングそのもの。また、夏は配達先の庭先でよく蜘蛛の巣に引っかかり、雨の日には新聞が濡れないようにレインコートを着込んで必死に走りました。当時はまだインターネットが普及しておらず、朝一番に届く新聞は貴重な情報源でした。わずか半年ほどの間ではありましたが、責任を持って配達を続けたことは、今でも大切な経験として心に残っています。新聞配達で得た人生初の給料は、ソニーのウォークマンの購入にあてました。お気に入りの曲をカセットテープに録音し、それを聴きながら配達に出かけたものです。今でもその音楽を耳にすると、当時の風景や配達に向かうときの気持ちが鮮明に蘇ってきます。

■高校時代を共にした“チャリ”

1996年春、島根県立東高等学校（以下、東高）へ進学しました。お茶の間でもよく見かける芸人“かまいたち”の山内君とは同級生でしたが、当時は一度も言葉を交わすことがなく、今思えば話しておけばよかったと少し悔やまれます（笑）。

自宅の西津田町から東高までは、毎日“チャリ”で通学していました。通学路は勾配のある“くにびき大橋”を通ります。



橋北から橋南へと通学する生徒と橋の上ですれ違うため安全運転を心がけていました。橋を渡り終わると松江市北公園内を抜け、学園通りへ出て東高へと向かいます。北公園には現在Bリーグで活躍している“島根スサノオマジック”のホームアリーナが建っていますが、当時はまだ旧体育館で風景は今とは全く異なります。

東高では3年間、野球部に所属しました。東高の野球部は過去(1989年)に一度だけ甲子園へ出場しており、部室にはその時のエースのサイン色紙が飾られていました。練習は厳しく、1年生で15名いた同級生の部員も、3年生の最後の大会まで残ったのはわずか4名。夜遅くまで練習し、帰り道は仲間とたわいもない話をしながら暗い夜道を帰ったのも、今では大切な思い出です。土日の練習帰りに立ち寄った“はなさか”のラーメン、“ガラムマサラ”のカレー、“どんらく”のカツ丼は、青春の味として今も忘れられません。残念ながら、どの店も今はもう姿を消してしまい、寂しさを感じます。

野球に打ち込みすぎたせいか勉強が追いつかず、1999年春からは東高の補習科に通うことになりました。補習科制度は島根県内では知られていますが、他県には殆ど無いと思います。県立高校に併設された教育機関であり、当時は松江北・松江東・松江南・出雲・浜田の5校に設置されており、現役生と同じ時間割・チャイムで生活し、授業も同校の先生方が教えてくれます。ただ、東高は掃除や避難訓練まで現役生と一緒に行っていたため、まるで高校4年生のような感覚で過ごしました。もちろん、この1年も“チャリ”と共にありました。

当時、多くの生徒はチャリ通学でしたので、チャリにも“センス”が問われていたように思います。今思えば「なんで？」というカンジですが流行はママチャリでした（笑）。ですが私は違いました。一般的な通学用自転車をカスタマイズ。銀色のアップハンドルに換装し、ボディ全体を灰色に塗装、ブレーキワイヤーも長めに調整したオリジナル仕様で走っていました。かなりお気に入りの“マイチャリ”でしたが、高校3年の時に盗難に遭い、思いがけない別れを迎えることとなりました。

振り返れば、松江での生活のそばにはいつも“チャリ”がありました。新聞配達に駆け出した早朝、仲間と笑い合った帰り道、そして青春の汗を流した校舎へと続く道。そのどれもが、今も鮮やかに心に刻まれています。

令和7年度 役員名簿 (27名) (令和7年度5月24日総会承認)

会 長	松本 耕司	(上本庄町・本庄小学校)
副 会 長	松尾 年浩	(馬潟町・竹矢小学校)
副 会 長 事務局長兼務	竹谷 奨	(八束町・八束小学校)
副事務局長 (ゴルフ担当)	内部 茂	(東朝日町・中央小学校)
副事務局長 (事務担当)	景山 克雄	(法吉町・法吉小学校)
常任幹事 (会務・諸行事)	渡辺 悟	(北田町・付属小学校)
常任幹事 (HP担当)	鶴羽 孝子	(西持田町・持田小学校)
常任幹事 (広報担当)	茂居理智子	(堅 町・雑賀小学校)
常任幹事 (会務・諸行事)	平山 恭子	(古志原・津田小学校)
常任幹事 (会務・諸行事)	新宮 祐二	(鹿島町・佐太小学校))
常任幹事 (会務・諸行事)	尾原 謙治	(雑賀町・母衣小学校))
常任幹事 (会務・諸行事)	宍道 弘志	(中原町・内中原小学校)
団体推薦幹事 (近畿双松会)	松本 幸子	(南田町・母衣小学校)
団体推薦幹事 (近畿双松会)	木村 滋樹	(苧 町・内中原小学校)
団体推薦幹事 (関西矢の原会)	永瀬 丈嗣	(玉湯町・玉湯小学校)
団体推薦幹事 (関西矢の原会)	家島 明彦	(上乃木・古志原小学校)
団体推薦幹事 (関西矢の原会)	菰山 泰信	(八雲町・八雲中学校)
団体推薦幹事 (近畿松江工窓会)	三 澤 正	(奥出雲町・馬木小学校)
団体推薦幹事 (近畿松江工窓会)	有田 鋼司	(栄 町・雑賀小学校)
団体推薦幹事 (振商会近畿支部)	米田 稔宏	(白潟本町・白潟小学校)
団体推薦幹事 (振商会近畿支部)	前田 秀子	(東出雲町・上意東小学校)
団体推薦幹事 (皆美が丘会関西支部)	野津ゆう子	(黒田町・法吉小学校)
監 事	木幡 晃正	(宍道町・宍道小学校)
監 事	田中 裕子	(石橋町・北堀小学校)
顧 問	木村 恵吉	(雑賀町・雑賀小学校)
相 談 役	武田 貞雄	(雑賀町・雑賀小学校)
相 談 役	木原 貢	(宍道町・宍道小学校)

★ 近畿松江会へ運営協力金をご寄付いただいた方々（敬称略）

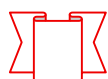
有田 鋼司・石倉 文行・伊藤 雅義・伊藤 征治・今井 憲子・岩田 太・浦 晴子
榎本 智恵・押田 良樹・小田 一美・景山 克雄・門脇 幸夫・神谷 紀男・木原 貢
木村 恵吉・木村 滋樹・木村八重子・桑原 勇・小泉 勝是・小瀧 翔平・小松砂知子
木幡 晃正・坂井 茂子・酒井 祥三・篠崎 一浩・新宮 祐二・宍道 弘志・曾田 良子
高瀬 保子・高橋 一雄・高橋 小梅・竹内喜次男・武田 貞雄・竹谷 奨・田中 一男
田中 晨子・田中 英明・田中 裕子・田村 稔久・友田 公一・永瀬 丈嗣・南目 益男
野津 一雄・平山 恭子・藤坂 優子・別所 裕志・前田 秀子・松尾 年浩・松本 育郎
松本 耕司・松本 幸子・松村 聡・三島 学・茂居理智子・本屋敷千鶴子・森藤 哲章
山内 和美・山口 紀子・米田 稔宏・渡辺 悟 以上60名

★ 近畿松江会総会・懇親会にご寄付いただいた方々（敬称略）

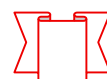
有田 鋼司・石原 綏子・内部 茂・大浦 綾子・大堀 裕子・岡本 由美・景山 克雄
神谷 紀男・木原 貢・木村 恵吉・桑原 勇・小泉 勝是・木幡 晃正・酒井 祥三
志賀 潔・車野 礼二・新宮 祐二・曾田 良子・武田 貞雄・竹谷 奨・田中 英明
田中 正治・田中 裕子・友田 公一・南目 益男・野津ゆう子・平山 恭子・藤田 宏
前田 秀子・松尾 年浩・松本 育郎・松本 幸子・三林 京子・三好 洋二・目次 護
森藤 哲章・山本 雅昭・米田 稔宏 以上38名

★ 双樹学院への支援金をいただいた方々（敬称略）

浦 晴子・大堀 裕子・小数賀健二・面白 紘・景山 克雄・神谷 紀男・木原 貢
桑原 勇・小泉 勝是・木幡 晃正・坂井 茂子・酒井 祥三・曾田 良子・高橋 一雄
竹内喜次男・武田 貞雄・竹谷 奨・田中 晨子・田中 英明・田中 裕子・鶴羽 孝子
友田 公一・永江 睦男・野津ゆう子・長谷川浩之・平山 恭子・藤城 坦・別所 裕志
前田 秀子・松尾 年浩・松本 育郎・松本 耕司・松本 幸子・三澤 正・三島 学
溝口 裕子・茂居理智子・本屋敷千鶴子・森藤 哲章・山内 和美・山寄麻里子・米原 克則
渡辺 悟・和田 實 以上45名



ご寄付・ご支援あらためて御礼申し上げます だんだん



会 員 名 簿 (中・小学校区別)

令和6年(2024年)9月現在

- ①”ふるさと”に密着した「会員名簿」とするため、中・小学校区(通学区域)と、皆様から申告いただいている「出身町」をあてはめて作成しました。
- ②不具合、間違いがあります場合は、事務局までご一報いただければ幸いです。
- ⇒(注) 島根大学付属小(中)学校は、この表には記載していません。

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【一中校区】	
生馬小	(上佐陀町一部、下佐陀町、西生馬町、東生馬町、薦津町、浜佐田町一部)
内中原	(殿町一部、西茶町、東茶町、苧町、中原町、片原町、外中原町、内中原町、末次町、堂形町、砂子町、国屋町、黒田町一部、浜佐田町一部、千鳥町、南平台)
城北小	(北堀町、奥谷町、東奥谷町、石橋町、大輪町、湊北台、法吉町一部、春日町一部、黒田町一部、菅田町一部)
法吉小	(比津町、比津が丘、法吉町一部、西法吉町、春日町一部、黒田町一部)
<石橋町>	田村 稔久(豊中市) 田中 裕子(吹田市)
	山寄 麻里子(大東市)
	池田 喜美代(門真市) 小泉 勝是(長岡京市)
<内中原町>	大堀 裕子(東大阪市) 野津 一雄(尼崎市) 桑原 勇(神戸市)
	野口 博也(神戸市)
<苧 町>	木村 滋樹(神戸市)
<砂子町>	松村 聡(高槻市)
<奥谷町>	浅沼 吉正(宝塚市) 柏木 薫(吹田市)
<片原町>	村上 勝美(三島郡島本町) 土田 和男(大阪市)
<大輪町>	周藤 達夫(神戸市)
<北堀町>	山口 茂(京都市) 和田 邦孝(神戸市) 石賀 誠一郎(橿原市)
<黒田町>	山口 紀子(神戸市) 野津 ゆう子(奈良市)
<堂形町>	小田 一美(奈良市)
<中原町>	佐々木 悦子(吹田市) 宍道 弘志(吹田市)
<外中原町>	森脇 泰雄(大阪市) 加藤 巡一(神戸市)
<東生馬町>	山根 武広(吹田市)
<浜佐田町>	安達 宏昭(箕面市)
<比津町>	小数賀 健二(河内長野市)
<法吉町>	景山 克雄(八尾市) 佐藤 陽太郎(京都市)
【二中校区】	
朝酌小	(西尾町、朝酌町、福富町、大井町、大海崎町)
川津小	(菅田町一部、西川津町一部、上東川津町、下東川津町)
母衣小	(末次本町、東本町、殿町一部、母衣町、北田町、南田町、米子町、向島町、西川津町一部、学園南、学園)
持田小	(福原町、坂本町、川原町、東持田町、西持田町、上本庄町一部)
<上東川津町>	井上 伸久(高槻市)
<西川津町>	今井 憲子(大阪市) 森口 次郎(京都市)
<北田町>	渡辺 悟(大阪市) 大浦 綾子(西宮市) 中庭 陽子(貝塚市)
<末次本町>	三成 宏二(木津川市)
<西持田町>	鶴羽 孝子(尼崎市)
<川原町>	鳥居 恭江(明石市)
<東本町>	木村 八重子(八尾市)
<母衣町>	大野 賢造(川西市)
<南田町>	松本 幸子(大阪市) 野津 博道(豊中市)
<米子町>	永瀬 光一郎(芦屋市)

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【三中校区】	
雑賀小	(栄町、新町、松尾町、雑賀町、堅町、本郷町、西津田一部、上乃木一部)
中央小	(天神町、白潟本町、灘町、魚町、八軒屋町、和多見町、寺町、横浜町、幸町、袖師町、嫁島町、伊勢宮町、御手船場町、大正町、新雑賀町、東朝日町、朝日町、津田町、西津田一部、西川津町一部)
	○平成7年4月1日 白潟小学校 + 朝日小学校 ⇒ 中央小学校
＜朝日町＞	岡 茂(大阪府豊能郡)
＜伊勢宮町＞	竹谷 曜子(大阪市)
＜雑賀町＞	荻田 運三郎(明石市) 木村 恵吉(吹田市) 篠崎 一浩(神戸市)
	武田 貞雄(河内長野市)
	尾原 謙治(奈良市) 片山 伸雄(神戸市)
＜白潟本町＞	米田 稔宏(高槻市)
＜新町＞	中村 博行(名張市)
＜栄町＞	有田 鋼司(大阪市)
＜新雑賀町＞	
＜大正町＞	
＜堅町＞	茂居理智子(大阪市) 竹内喜次男(高槻市)
＜天神町＞	長谷川 浩之(大阪市)
＜寺町＞	鎗木 孝子(京都市)
＜灘町＞	
＜東朝日町＞	内部 茂(茨木市) 菊池 尅雉(神戸市) 村尾 俊治(枚方市)
	溝口 裕子(茨木市)
＜本郷町＞	
＜横浜町＞	岡本 由美(伊丹市)
＜和多見町＞	田中 一男(京田辺市)
【四中校区】	
古志原小	(古志原一部、八雲台、上乃木一部、一の谷町)
津田小	(東津田町、古志原一部、西津田一部)
【湖南中校区】	
	○昭和50年4月1日 新設
忌部小	(西忌部町、東忌部町、玉湯町一部)
乃木小	(上乃木一部、浜乃木町、浜乃木、乃白町、乃木福富町、田和山町、西嫁島)
＜上乃木＞	神谷 紀男(堺市) 田中 英明(交野市) 坂本 隆男(大津市)
	家島 明彦(大阪府三島郡島本町)
＜古志原＞	曾田 良子(宇治市) 平山 恭子(大阪市)
＜西津田＞	米原 克則(宝塚市)
＜浜乃木＞	
＜乃木福富町＞	小瀧 翔平(伊丹市)
＜東津田町＞	太田 明宏(福知山市) 酒井 祥三(尼崎市) 南目 益男(大阪市淀川区)
【湖東中校区】	
	○平成5年4月1日 新設
大庭小	(大庭町、山代町、古志原一部、佐草町、大草町、矢田町一部)
竹矢小	(矢田町一部、青葉台、竹矢町、馬潟町、八幡町、富士見町)
＜大草町＞	
＜大庭町＞	押田 良樹(吹田市)
＜馬潟町＞	松尾 年浩(高槻市)
＜山代町＞	
＜八幡町＞	大野 徹(奈良市)

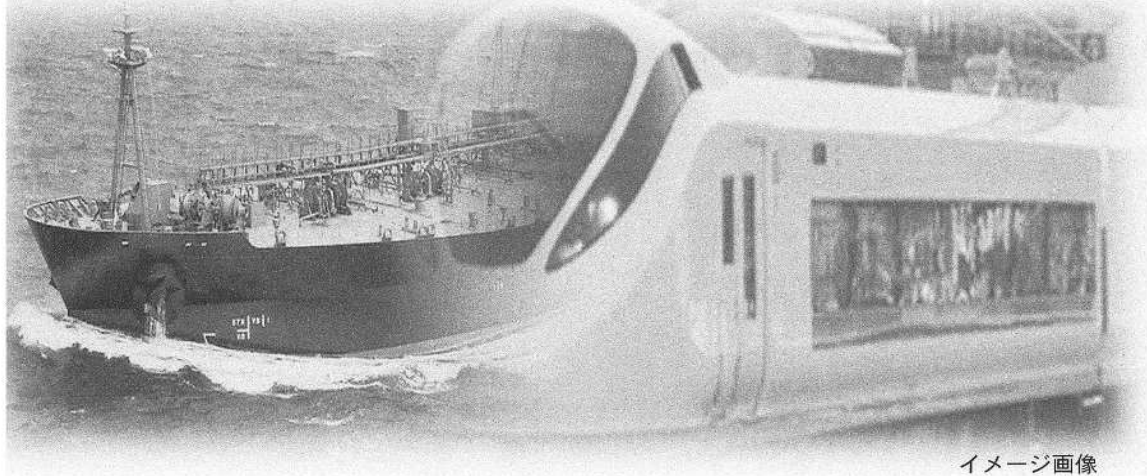
校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【湖北中校区】	○平成6年4月1日 古江中学校 + 秋鹿中学校 + 大野中学校 ⇒ 湖北中学校
秋鹿小 (秋鹿町、岡本町、大垣町)	○平成22年4月1日 中島小学校 + 秋鹿小学校 ⇒ 秋鹿小学校
大野小 (大野町、上大野町、魚瀬町)	
長江小 (東長江町、西長江町)	
古江小 (古曾志町、西谷町、古志町、莊成町、西浜佐陀町、上佐陀町一部)	○平成23年4月1日 長江小学校 + 古江小学校 ⇒ 古江小学校
<秋鹿町>	石倉 喜充(和歌山市)
<岡本町>	堀川 光子(大阪市)
<東長江町>	和田 寛(河内長野市)
【鹿島中校区】	
鹿島東小	鹿島町(御津、上講武、南講武、北講武、名分一部)
惠曇小	鹿島町(惠曇、手結、片匂、佐陀本郷一部、武代一部、古浦一部)
佐太小	鹿島町(佐陀宮内一部、佐陀本郷一部、武代一部、古浦一部、名分一部)
<鹿島町>	坂井 茂子(亀岡市) 山本 雅昭(大阪市) 小松 砂知子(東大阪市) 新宮 祐二(生駒市) 高橋 一雄(箕面市)
【島根中校区】	○平成16年4月1日 島根中学校 + 野波中学校 ⇒ 島根中学校
島根小 (島根町)	○平成17年4月1日 大芦小学校+加賀小学校+野波小学校 ⇒ 島根小学校
<島根町>	客野 伸(神戸市) 藤城 坦(神戸市)
【宍道中校区】	
大谷小	宍道町(上来待和名佐地区)
来待小	宍道町(東来待、西来待、上来待)
宍道小	宍道町(宍道、伊志見、白石、佐々布、昭和)
<宍道町>	池尻 和子(東大阪市) 伊藤 雅義(京都市) 小田 兼久(豊中市) 川島 小夜子(川西市) 木原 貢(豊中市) 木幡 晃正(丹波篠山市) 田中 晨子(枚方市) 小寺 紀子(伊丹市) 吉田 昭(明石市) 小豆沢 良(明石市) 阪本浩吉(枚方市) 永江 睦男(枚方市) 仲西 信子(尼崎市)
【玉湯中校区】	
大谷小	玉湯町(大谷一部)
玉湯小	玉湯町(布志名、湯町、林、玉造一部、大谷一部)
<玉湯町>	長谷川 紀美子(奈良県北葛城郡) 中曾 暁尚(大阪府豊能郡) 別所 裕志(高石市) 永瀬 丈嗣(茨木市) 清水 博子(堺市)
【本庄中校区】	
本庄小	(手角町、長海町、野原町、枕木町、邑生町、新庄町、上宇部尾町、本庄町、上本庄町一部)
<上宇部尾町>	
<上本庄町>	松本 育郎(堺市) 松本 耕司(枚方市)
<新庄町>	寺前 澄子(高槻市) 木村 修芳(枚方市)
<手角町>	
<本庄町>	面白 紘(橿原市) 山内 和美(吹田市) 三代 雅樹(加古川市) 田部 拓生(奈良市)
<枕木町>	木島 光子(大津市)
<本庄町>	面白 紘(橿原市) 山内 和美(吹田市) 三代 雅樹(加古川市) 田部 拓生(奈良市)
<枕木町>	木島 光子(大津市)

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【美保関中校区】	○平成7年4月1日 美保関北中学校 + 美保関南中学校 ⇒ 美保関中学校
美保関小 (美保関町)	○平成13年4月1日 美保関小学校+森山小学校+福浦小学校⇒美保関東小学校 ○平成13年4月1日 七類小学校+片江小学校⇒美保関北小学校 ○平成18年4月1日 美保関東小学校+千酌小学校+美保関北小学校⇒美保関小学校
<美保関町>	
【八雲中校区】	
八雲小 (八雲町)	
<八雲町>	石倉 文行(豊中市) 藤田 宏(堺市) 菰山 泰信(川西市)
【八束学園校区】	○平成23年1月1日 八束小学校⇒小中一貫教育校として発足
八束学園 (八束町)	
<八束町>	岩田 太(神戸市) 門脇 基(茨木市) 門脇 幸夫(大阪市) 川原 ひろ子(豊中市) 河野 宗子(草津市) 高瀬 保子(大阪府豊能郡) 高橋 小梅(東大阪市) 竹谷 奨(大阪市) 坪山 孝美(宝塚市) 福屋 篤子(豊中市) 松本 悟(大東市) 門脇 充人(大阪市)
【東出雲中校区】	○平成23年8月1日 八束郡から松江市に合併
出雲郷小 (出雲郷地区)	
揖屋小 (揖屋地区)	
意東小 (意東地区)	
<東出雲町>	萩野 貫悟(吹田市) 前田 秀子(高槻市)

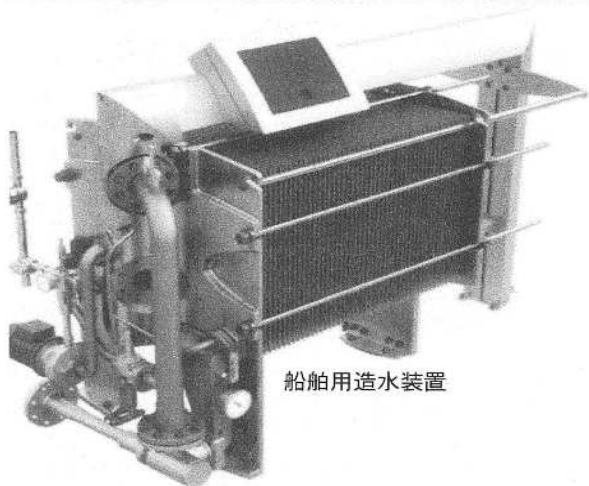
■【松江市外出身の会員】	
<安来市>	石田 裕子(大阪市) 浦 晴子(吹田市)
<出雲市>	竹内 一郎(大阪市)
<奥出雲町>	三澤 正(四條畷市)
<雲南市>	三島 学[桂弥っこ](尼崎市)
<広瀬町>	森藤 哲章(橿原市)
<隠岐郡海士町>	田黒 公司(川西市)
<隠岐の島町>	村田 貢(京都市) 本屋敷 千鶴子(西宮市) 小林 香澄(高槻市)
<飯南市>	佐和田 丸(枚方市)
<大阪市>	榎本 智恵(福岡市)
<箕面市>	友田 公一(箕面市)
<高槻市>	益田 正己(松江市)
<山陰中央新報社>	小松 慶一郎(大阪支社長)

■【名誉会員】	
<大阪市>	三林 京子(住之江区)

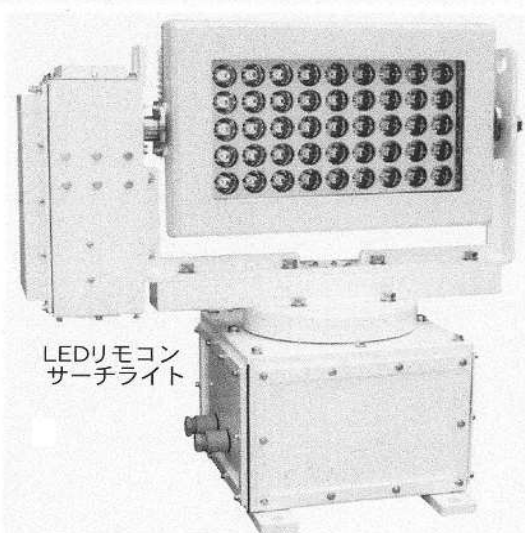
《鉄道車両、船舶、産業機器、ソリューション》



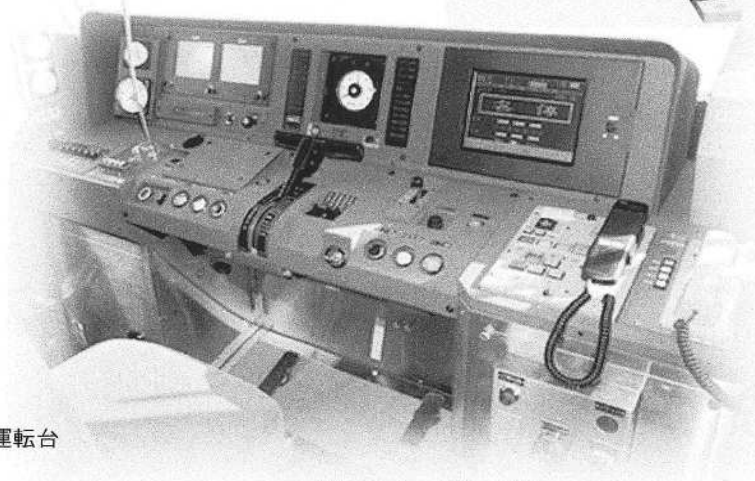
イメージ画像



船舶用造水装置



LEDリモコン
サーチライト



鉄道車両運転台

株式会社
トヨーコーポレーション
TOYO & ENGINEERING CORP.

取締役社長 山本 雅昭 (島根県立松江高校 七期卒)

本社/〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-21-35 Tel.06-6443-2061 Fax.06-6443-9736
東京支店・豊中工場

Gestaltung : K.Raum

天ぷらに、茶碗むし
お吸い物に。

島根大根島

だいこん
じま

JAしまね はまぼうふう生産組合

安心・安全・殺菌・汚れ・悪臭を分解
酸化チタン光触媒合成砂トキサンドクリーン

シルテック

代表 茂居 理智子

〒534-0015
大阪市都島区善源寺町2-3-23の305号
TEL・FAX 06-6923-5511
携帯電話 090-8889-6341

松江観光大使
近畿松江会 監事

木幡 晃正

〒669-2231 丹羽藩山市住吉台12-7
携帯 080-7985-6216

篠崎倉庫株式会社

代表取締役会長 篠崎 治

〒650-0023 神戸市中央区栄町通4-1-11
TEL 078-341-6721 FAX 078-361-3647

その他事業所
神戸市中央区弁天町（シーガルハーバービル）
神戸市中央区栄町通（エタニティ栄町ビル）
神戸市兵庫区築地町
神戸市灘区灘浜町（シー・スクエア座部）
大阪市豊中市向丘（豊中ビル）

松江城天守国宝指定10周年！

（一社）松江観光協会 水の都松江 検索
TEL：0852-27-5843 FAX：0852-26-6869

山陰合同銀行 大阪支店

GOGIN GREEN PROJECT

支店長 植 寛行
うえ ひろゆき

Valuable 500

〒541-0056
大阪市中央区久太郎町四丁目1番3号
TEL. 06-6252-5400 FAX. 06-6252-5410
https://www.gogin.co.jp
E-mail: uehi@gogin.co.jp

美味しい島根の酒 一期一会の出会い 感謝

新鮮な島根の魚 だんだん、だんだん

居酒屋 はる

〒536-0002
大阪市城東区今福東1-10-5
今福ファミリータウン1F
☎ 06-6930-1585
最寄り駅 地下鉄 長堀鶴見緑地線
今福鶴見駅②出口より徒歩2分



松江商工会議所

会 頭 田 部 長 右 衛 門
副 会 頭 金 津 任 紀
副 会 頭 兒 玉 泰 州
副 会 頭 鶴 鷯 順
副 会 頭 太 田 敦 久
松 江 市 母 衣 町 五 五 一 四
TEL 〇八五二一二三一六

堺南自家用自動車協会

専務理事 武 田 朗

〒590-0157 堺市南区高尾三丁三三〇八
TEL 〇七二五―四一―三九六六
TEL 〇七二五―四一―五六〇七

西松地所株式会社 関西支店

営業課
課長

景 山 克 雄

一級建築士
〒530-0047
大阪市北区西天満3丁目14-16
西天満パークビル3号館 9階
TEL: 06-6131-2023
FAX: 06-6131-2032
携 帯: 080-1456-9273
E-mail: kageyama-999@n-jisho.co.jp



西松地所株式会社



タッセルホテル 三条白川

〒605-0022 京都市東山区三条通白川橋西入大井手町103-3
TEL: 075-771-0775 FAX: 075-771-0785
<https://tasselhotel.jp/kyoto-sanjo/>

タッセルイン京都 河原町二条

〒604-0913 京都市中京区新堀木町通二条上ル角倉町226
TEL: 075-256-2500 FAX: 075-256-2501
<https://tasselhotel.jp/inn-kyoto-nijo/>

近畿松江会

会 長 松 本 耕 司

〒573-0049

枚方市山之上北町20-34

TEL 090-6609-8817

近畿松江会

副会長 松 尾 年 浩

〒569-1029

高槻市安岡寺町3-14-6-404

TEL:090-8656-9179

mail :nen.matsuo@ever.ocn.ne.jp

近畿松江会

副会長兼事務局長 竹 谷 獎

〒540-0004

大阪市中央区玉造1-15-12-601

TEL:090-3054-9159

mail :osktake@ff.iiij4u.or.jp

近畿松江会

顧問 木 村 恵 吉

〒565-0824

吹田市山田西1-18-2

TEL:080-3108-3330

mail :ckgma740@sutv.zaq.ne.jp

近畿松江会

相談役 武 田 貞 雄

〒586-0042

大阪府河内長野市日東町271

TEL:090-8195-6926



島根自動機株式会社

SHIMANE JIDOKI CO., LTD.

会社概要

- ・本社住所：島根県松江市北陵町5-1
- ・設立：1982年（昭和57年）10月
- ・代表取締役：新宮邦隆

●省力化・自動化設備の設計・製作

本社棟、本社第1～6工場（島根）



鹿島工場（島根）



大阪技術センター



茨城技術センター



無錫島根機械有限公司



●海外拠点
（中国）

事業概要

F A 事業

生産設備の設計・製作

（業種）：電気、電子、自動車、
電池、医療、食品

☆一品一様の装置製作

☆OEM製作も可能



ロボット事業

ロボット開発

ロボットシステム

装置の開発・販売

☆ロボットを搭載した
自動化のご提案

4軸パラレルリンクロボット



自社開発商品

6軸多関節ロボット

部品加工事業

加工単品の製作、販売

（種類）：精密加工、大物加工、
製缶、板金、樹脂

☆内製加工（国内）+ 海外調達



- ・設計、部品加工、組立、制御、調整、納入までの一貫生産
- ・5面加工機、5軸加工機を用いた小～大物部品加工の内製化

"Only One" の物造り

※国内大手企業に多数納入実績

【お問い合わせ】島根県松江市北陵町5-1

TEL：0852-67-7113（本社営業）

E-mail：eigyo@shimane-jidoki.com

HP：<http://www.shimane-jidoki.com/>

ぐるっと松江
堀川めぐり

松船より
江旅旅道。

松江をめぐる、
乗り合い小船。

歴史、自然、人、いろいろ。

国宝松江城を囲む堀は、築城当時の姿を今も残しています。
堀を小船でめぐる「堀川めぐり」は、松江城下の懐かしい日本の風景、小泉八雲ゆかりの地、築城四〇〇年の時を超えその姿をいまだに残す森の自然・四季、堀の美しさをお楽しみいただけます。

船頭募集中

ふるさと松江で

ふるさとの魅力を・・・

- ★社会制度あり!
- ★船舶免許助成制度あり!
- ★50代～70代までの方が活躍中!
- ★女性船頭も多数活躍中!

島根県松江市黒田町507-1 TEL 0852-27-0417

9:00～17:00 ※時期によって異なる

大人1,600円 中人1,300円 小人800円

堀川めぐり

検索



□ 事務局から“お知らせ” □

近畿松江会にご支援・ご協力いただきありがとうございます。

当会は会員数を増やすことを最大の課題とし、令和5年4月より松江市内に在る高校の同窓会（松江北高校：双松会・松江南高校：関西矢の原会・松江工業高校：近畿松江工窓会・松江商業高校：振商会近畿支部・旧松江女子高：皆美が丘会関西支部）より推薦幹事をお迎えし取り組んでいます。念願であった松江東高校からも今年度は2名の加入がありました。是非会員増にご協力ください。

■ メールアドレス登録のお願い

各種情報やホームページの更新などいち早くお伝えいたしたく、会員各位のメールアドレスの登録をお願い致します。アドレスはスマートフォン・パソコンいずれからでも結構です。近畿松江会 HP からはアクセスのうえ「登録はこちらから」をクリックし登録ください。

■ 当会のホームページをのぞいて下さい

<http://www.kinki-matsuekai.jp/>

ホームページにはいろいろなコーナーを設置し、日々情報を発信しています。

○お知らせの『会員作品コーナー』にあつては、季節の写真、レトロな写真ほか絵画など会員の皆様も掲示板への投稿はもちろん手作り作品・ガーデニング等々の発表をお待ちしています。

「松江へ帰ったら、懐かしい風景があった」なんてなど、是非ご紹介下さい。

□ 編集後記 □

近畿松江会は19周年を迎えましたが会報は第1号が平成20年発行、見送りが1回あり、今号で第16号です。初年度より14回続いた総会は、令和2年から4年までの3年間をコロナ休会し今年度は第17回となりました。今後は禍もなく発行、開催が続けられることを願うばかりです。

さて 寄稿集“松江だんだん”(わが町)は今号、2名の執筆をいただきました。あらためて御礼申し上げます。あなたの町を是非ご紹介ください。次は貴方の出番ですよ。

また 市報松江の「松江の皆さんこんにちは」は今年度からひと月増となり、1月号・5月号・8月号・11月号を担当することとなりました。

投稿希望のかたは事務局へご連絡下さい。

■ 表紙(写真)について

松江城は今年、「松江城を国宝にしよう」との運動が実を結び国宝指定されてから10周年を迎えました。おめでとうございます。

景山副事務局長から月とライトアップの幻想的な松江城写真を提供していただき採用しました。

事務局長 竹谷 奨

■ 近畿松江会 会報 第16号

■ 発行:令和7年10月(2025年)

■ 発行者:近畿松江会 〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町 2-34 竹谷設計事務所内

TEL:090-3054-9159 FAX:06-6777-2990 E-mail: osktake@ff.ij4u.or.jp

